

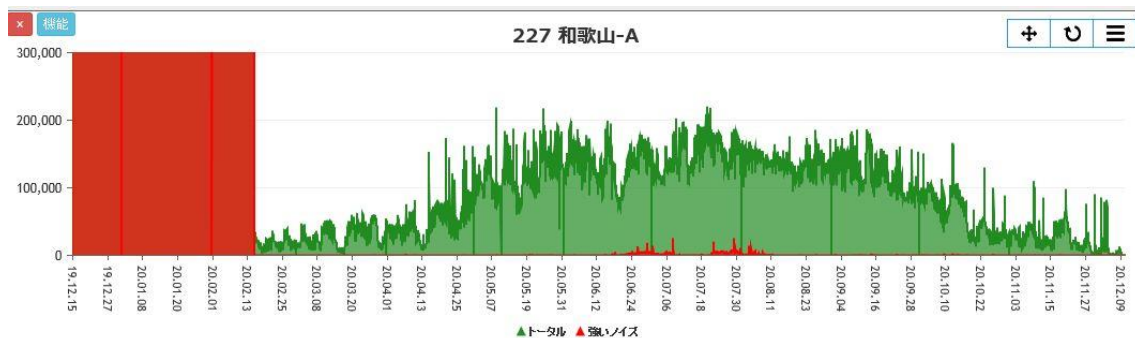
201209 和歌山一A の収束状況について その5

12月7日(月)の段階で 和歌山一A の長期データはゆっくりと減衰→収束してきて その後、特に大きなリバウンドがなく減衰→収束を続けています、としましたが 本日12月9日には 少し小さいリバウンドが見られますが 大きな減衰→収束の傾向は変わっていません。また周囲のデータには いくつかの1本立ちが散見されていますが 宝塚22万、三重志摩 41万、高知市介良 60万、神戸市灘区 8万等、いずれも万を超えた大きなデータであって この時期の東北や関東の各データが数百から数千であることを考えると、和歌山一A の収束を中心に近畿地区は十分危険な可能性があります。

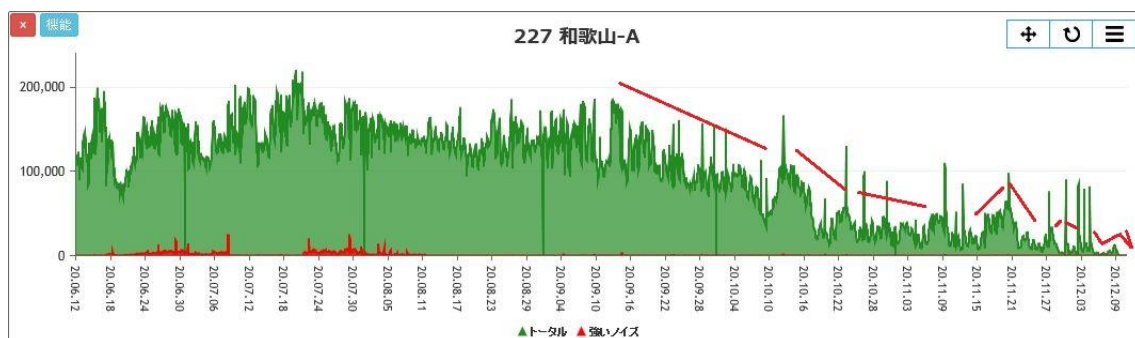
本日からここ数日中に 和歌山県を中心にした、半径100kmほどの震源、かりに海側であれば紀伊水道などで M6 超クラスの地震の発生が考えられます。本日12月9日には 定期の逆ラジオメールが配信されますが以下のデータも併せてご覧ください。

(なお宏観現象として近畿→東海に彩雲が見られたそうです、参考まで)

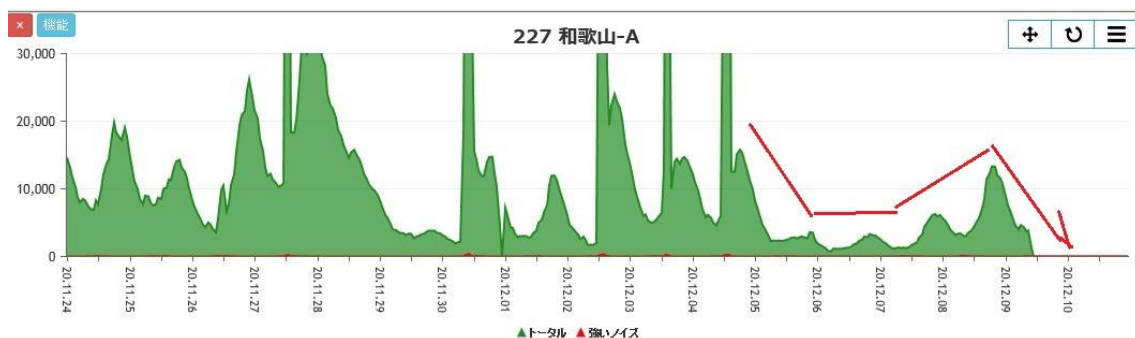
和歌山一A 360日データ



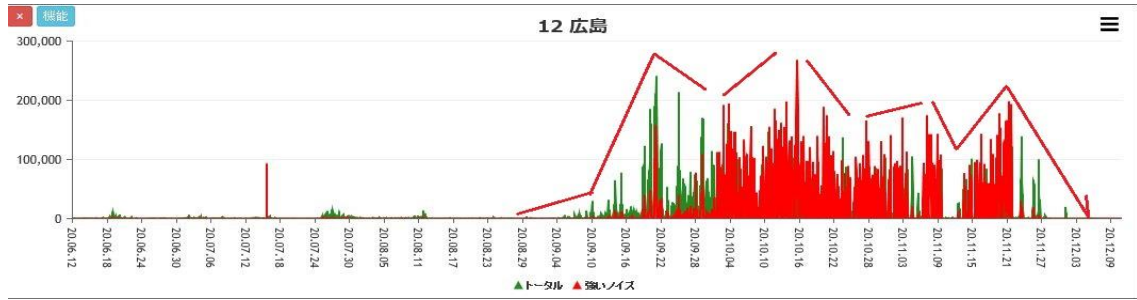
和歌山一A 180日データ



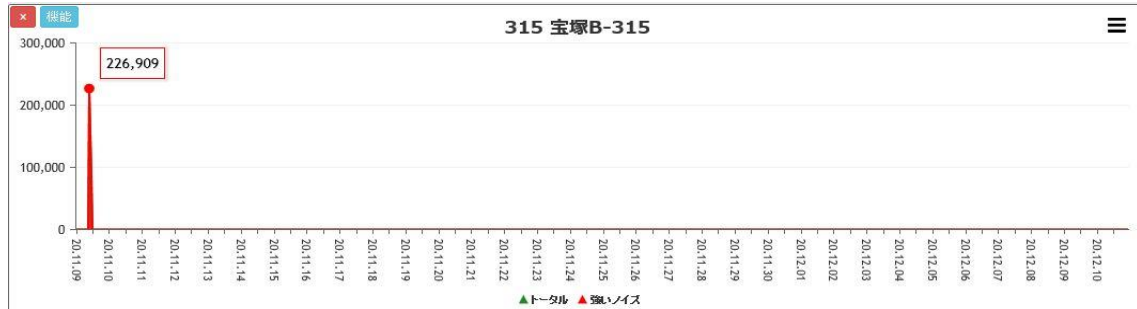
和歌山一A 150日データ



広島 180 日データ



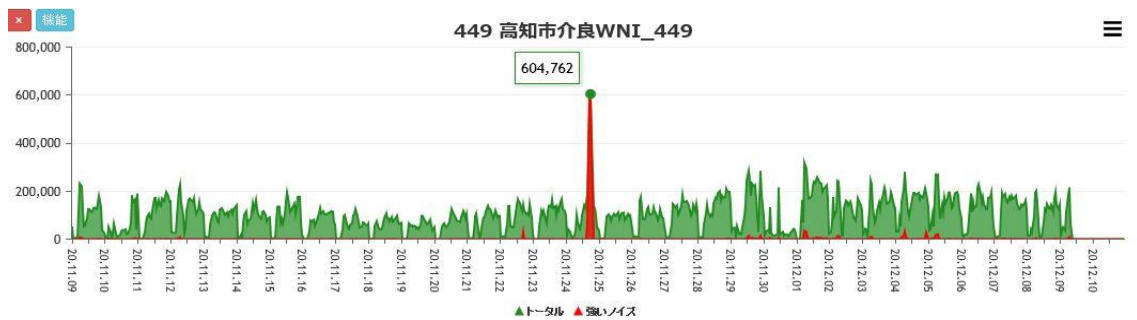
関西各地の 1 本立ち、30 日データ 宝塚 22 万



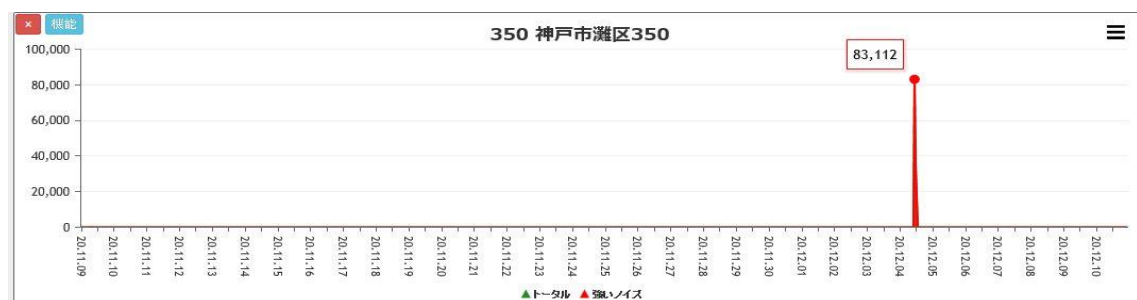
三重志摩 41 万



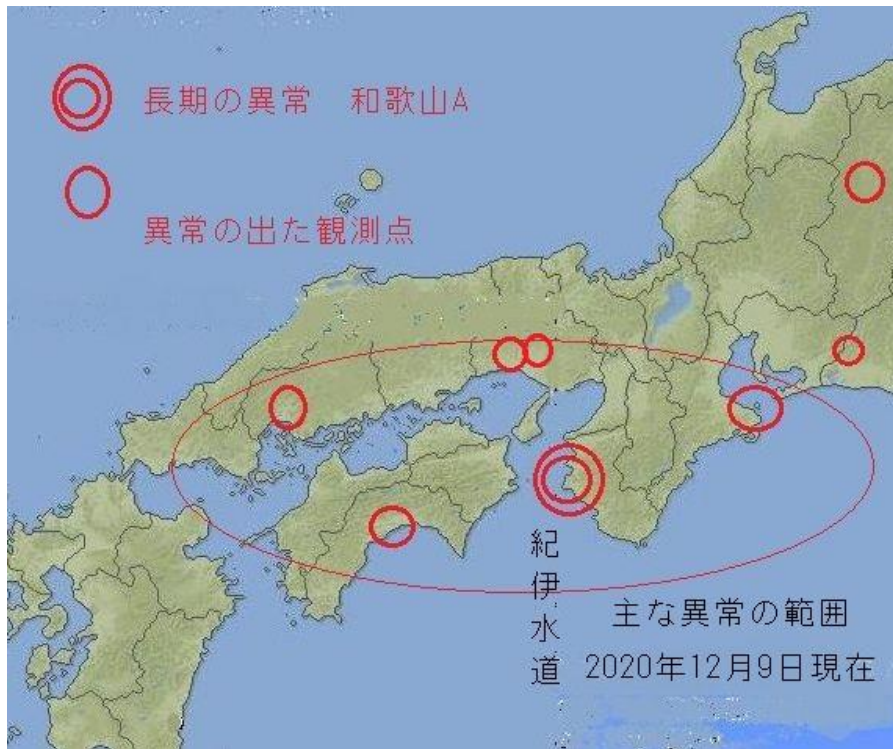
高知市介良 60 万



神戸市灘区 8 万



位置関係



12月9日に近畿～東海地区に彩雲が見られた。

